

いろがみうた

端染瑠紺

折り目折り目に願いを込めて  
一つまた一つ重くなる  
羽は開いちゃいけないよ  
福を乗せて飛んでいってしまうから  
一人十人百人千人  
数は違えど紙頼み

——  
鶴

ほうら坊やに被せてあげよう  
丈夫な子どもに育つように  
ふかぶかと小指に被せられた  
可哀想だからねとお姉さん指にも  
おんなじものをもう一つ  
僕の姉ちゃんは男勝り

——  
かぶと

うんと力を込めて飛ばしたら  
ひっくり返って地面に落ちた  
やんわり飛ばした先生に  
勝ってやろうとやっきになって  
橙に映える青いつばさ  
小さいながらに強い願いを

——紙飛行機

唐紙の向こうで声が聞こえる  
雪に南天に戯れる姿を  
さえずりながら近づいてきて  
私に愛でさせてくれませんか  
見えるだけで届かないから  
手のひらにそつと乗せてください

——ふくらまずめ

からから音は鳴らないけれど  
くるくる私の指で回る  
外で風に吹かれずに  
同じ形のまま止まってる  
音を奏でることが出来ない  
見かけ倒しの飾りもの

——かざぐるま

大きいものと小さいものと  
ひれをつけて目玉をつけて  
水色の紙に貼りつけて  
小鉢の隣に置いてみた  
これなら二度と死なないだろう  
餌のいらぬ僕のペット

——金魚

うまくふくらまないの、とすねた  
すぐにつぶれちゃうの、とむくれた  
ひしゃげて散らばったのを拾って  
優しく使ってあげなさいと  
おばあちゃんが頭を撫でた  
懐かしい音と香り

——風船

服の裾は出しますか  
いやいやズボンに仕舞いましょう  
肌色だから服はいらないね  
喪服を着れば顔も真っ黒  
いろとりどりにおめかしをした  
人形たちは今日も踊る

——やっこさん